

学力アクションプラン

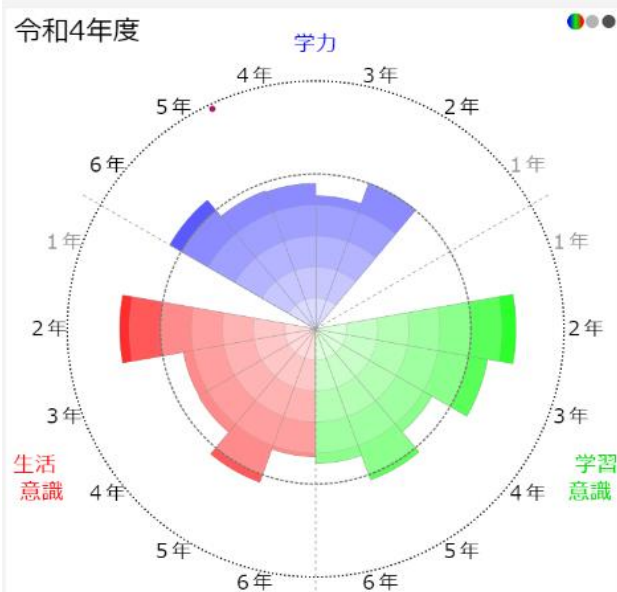
重点取組分野		具体的取組
学習指導		①40分授業、スキルタイムに対応した授業方法を工夫し、基礎基本の定着に取り組む。 ②個別最適な学びができるように、ICTの効果的な活用や、子どもの学習状況を複数の目で把握できる、少人数指導、一部教科担任制など様々な授業形態を取り入れる。
担当	学習指導	③探究的な学習や体験活動を通して、他者と関わり合いながら協働的主体的な学びを充実させる。

学力向上に関わる本校の状況

(1)令和4年度のグラフを見ると、学年や教科を総合すると、学力は市の平均をやや下回っている。前年度との比較では、若干下降傾向である。また学習意識については低学年から高学年に上がるにつれて、下降傾向にある。また、学習意識、生活意識は連動していて、それが学力の向上と定着に大きく関わっているととれる。

「新しいことに挑戦するときにはワクワクする」
 「ほかの人の表情や変化に気づきやすい」
 「自分の考えより相手の考えの方がよいと思った時は進んで考えを変えることができる」と回答した児童は市の平均を上回っており、主体的な学習活動や、対話的や協働的な学びが有効と思われるが、その前提として安心できる学習環境の確保が考えられる。(令和3年度、令和4年度は1学年学力状況調査未実施)

(2)令和4年度より40分授業を取り入れ、一部教科担任制を継続し、合わせて授業改善を図っている。



今年度の目標

あらゆる学力層の子が前向きに学習に取り組めるように、やってみよう！おもしろそう！いっしょにやろう！と思える学習活動を展開する。

目標を実現するための具体的行動プラン

上半期	<p>【低学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○様々な友だちとペアトークやグループトーク(3人から4人)を積極的に活用し、互いの思いや考えを伝え合い、受容的な態度で話を聞く習慣を身に付ける。 ○個別最適な学びができるように、様々な教科の中で、計画的にICTを活用する。 ○生活科を中心とした探究的・体験的な活動を通して、他者と関わりながら主体的な学びを充実させる。 <p>【中学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○一部教科担任制を導入し、個に沿い、基礎・基本の定着を図る。 ○自分の考えを表現する場を意図的・計画的に多く設定し、お互いの考え方の違いを認識し、認め合えるようにする。 ○お互いの感じ方・考え方の違いを理解しようとした上で、よい学習活動を目指して協力することのよさに気付くことができるようにする。 <p>【高学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○一部教科担任制を導入し、個に応じた授業を展開し、基礎基本の定着を図るとともに、個々の考えを発信し、共有する機会を設ける。聴き方や話し方の学習規律を徹底する。 ○タブレット端末を活用することで、調べ活動の充実や思考の整理を図る。そこから、自信をもって自分の考えを伝え合えるようにする。 ○目的を意識させることにより、課題を自分ごととして捉え、協働的に活動できるようにする。 ○子どもの思考から学習課題を設定することで、学習に主体的に取り組めるようにする。
下半期	<p>※前期をふり返り10月に修正</p> <p>【低学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○様々な友だちとペアトークやグループトーク(3人から4人)を積極的に活用し、互いの思いや考えを伝え合い、受容的な態度で話を聞く習慣を身に付ける。 ○個別最適な学びができるように、様々な教科の中で、計画的にICTを活用する。 ○生活科を中心とした探究的・体験的な活動を通して、他者と関わりながら主体的な学びを充実させる。 <p>【中学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○一部教科担任制を導入し、個に沿い、基礎・基本の定着を図る。 ○自分の考えを表現する場を意図的・計画的に多く設定し、お互いの考え方の違いを認識し、認め合えるようにする。 ○お互いの感じ方・考え方の違いを理解しようとした上で、よい学習活動を目指して協力することのよさに気付くことができるようにする。 <p>【高学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○一部教科担任制を導入し、個に応じた授業を展開し、基礎基本の定着を図るとともに、個々の考えを発信し、共有する機会を設ける。聴き方や話し方の学習規律を徹底する。 ○タブレット端末を活用することで、調べ活動の充実や思考の整理を図る。そこから、自信をもって自分の考えを伝え合えるようにする。 ○目的を意識させることにより、課題を自分ごととして捉え、協働的に活動できるようにする。 ○子どもの思考から学習課題を設定することで、学習に主体的に取り組めるようにする。